

頭痛・発熱・生理痛に

第2類医薬品

非ピリン系解熱鎮痛薬

シオノギ製薬

シオノギ解熱鎮痛薬ACE

シオノギ解熱鎮痛薬 ACE は、4種類の成分を配合することにより、すぐれた鎮痛効果をあらわします。速く効き、胃にソフトな非ピリン系解熱鎮痛薬です。



使用上の注意 ……



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故がおこりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状をおこしたことがある人
- (2) 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくをおこしたことがある人

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

3. 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないでください（眠気などがあらわれることがあります）

4. 服用前後は飲酒しないでください

5. 長期連用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

- (1) 医師または歯科医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- (3) 水痘（水ぼうそう）もしくはインフルエンザにかかっている、またはその疑いのある小児（15才未満）
- (4) 高齢者
- (5) 薬などによりアレルギー症状をおこしたことがある人
- (6) 次の診断を受けた人

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	め ま い
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状がおこることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁などがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がないなどが持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振などがあらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢などがあらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱などがみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しいなどがあらわれる。

(裏面につづく)

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください  
眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

…… 効能・効果 ……

- 頭痛・歯痛・月経痛（生理痛）・神経痛・腰痛・外傷痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

…… 用法・用量 ……

次の量をなるべく空腹時をさけて、水またはぬるま湯でおのみください。  
また、おのみになる間隔は4時間以上おいてください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人（15 才以上）	2 錠	3 回を限度とする
小児（7 才以上 15 才未満）	1 錠	
乳幼児（7 才未満）	服用させないこと	

- 定められた用法・用量を厳守してください。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っている PTP シートの凸部を指先で強く押しつけて裏面のアルミ箔を破り、取り出しておのみください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながる可能性があります）



…… 成分・分量 ……

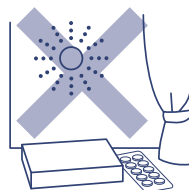
シオノギ解熱鎮痛薬 ACE は、白色の錠剤で、1 錠中に次の成分を含有しています。

成 分	含 量	は た ら き
エテンザミド	200mg	熱を下げ、痛みをやわらげる
アセトアミノフェン	80mg	
アリルイソプロピルアセチル尿素	30mg	痛みをおさえるはたらきを助ける
無水カフェイン	40mg	痛みをおさえるはたらきを助けるほか、頭痛をやわらげる

添加物として 乳糖水和物、カルメロースカルシウム、クロスカルメロースナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウムを含有しています。

…… 保管および取扱い上の注意 ……

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない、涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) PTP シートから出して他の容器に入れ替えないでください。  
（誤用の原因になったり、品質が変化します）
- (4) 使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



…… お問い合わせ先 ……

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記までお願いいたします。

塩野義製薬株式会社「医薬情報センター」  
電話：大阪 06-6209-6948、東京 03-3406-8450  
受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）

「副作用被害救済制度」について

(独)医薬品医療機器総合機構  
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

®登録商標

製造販売元

塩野義製薬株式会社

大阪市中央区道修町3丁目1番8号